

2016年6月号 260号 : M&Aの現場から

【日本産業推進機構】 潜在成長力の高い中小・中堅企業の飛躍を支援し日本経済活性化に寄与する

津坂 純 (代表取締役社長)

日本産業推進機構 (NSSK) は、2014年11月、元TPGキャピタル日本法人代表の津坂純氏の主導のもとに、TPGキャピタル日本でそれぞれ副会長及びプリンシパルを務めた石田昭夫氏、徳山一晃氏、元スキャデンアープスのパートナー (NY州弁護士) 渡邊健樹氏や日本GE社長を務めた伊藤伸彦氏が中心となって設立されたプライベート・エクイティ (PE)。

「大企業からのカーブアウト案件も含めて、潜在成長力の高い日本の魅力的な中小・中堅企業を主な対象とした出資活動を行うことを目的に日本産業推進機構を立ち上げました。我々は成長資金だけでなく、ビジネスプロセス、人材補強、国内外のネットワーク等を迅速かつ具体的に提供することで、出資先企業を飛躍させるとともに企業・株主価値の向上

及び雇用機会の創出を実現し、地方から日本経済全体の活性化に寄与していきたいと考えています」と、津坂氏。

津坂氏は、1961年生まれ。1983年ハーバード・カレッジを卒業しメリルリンチのバンカーとなる。その後ハーバード・ビジネススクールでMBA取得し、ゴールドマン・サックスのM&A部門ヴァイスプレジデント等を経て、06年から米TPGのパートナーおよびTPGキャピタルの日本代表を務めた。2014年独立しNSSKを設立した。

コアのメンバーは約20人。その他、さまざまな分野の専門家を顧問等とした幅広いネットワークを擁する。



津坂 純氏

NSSK設立と同時に、同社メンバーと個人投資家の出資によって1号投資有限責任組合を立ち上げ、すでに2件の投資を行った。

1件は、室内遊園地（インドア・プレイグラウンド）事業を展開するユーエスマート（本社：三重県伊勢市）で、NSSKはユーエスマートの株式7割（3割は創業者である田口喜啓社長が所有）を取得した。ビジネスプロセスの導入、その他の飛躍へ向けた内部体制の強化、店舗拡大や海外進出に向けた支援を行っており顕著な成果が数字に表れている。同社は、15年に経済産業省中小企業庁「がんばる中小企業・小規模事業者300社」にも選ばれている。

2件目は、同じく三重県伊勢市に本社を置く夫婦岩パラダイスの、名古屋鉄道グループからの買収である。1965年創業の夫婦岩パラダイスは、伊勢神宮から車で東へ約20分に位置する観光名所「夫婦岩」に隣接するドライブイン施設「二見プラザ」や「伊勢夫婦岩ふれあい水族館」などを運営している。

「ユーエスマートとの資本・業務提携は、田口社長と当社の石田副会長が共に京セラ創業者の稲盛和夫氏が主宰する盛和塾の塾生だったということが縁で実現しました。また、夫婦岩パラダイスは、ユーエスマートの主要銀行のご紹介です」と津坂氏。。

1号投資有限責任組合で実績を積んだNSSKは、15年末に2号投資有限責任組合を設立。16年末に最終クロージングの予定で、著名な内外の機関投資家等から出資を募っている。投資対象としてB to C、なかでも小売り、ヘルスケア、レジャーを展開する企業に注力していく方針で、1件当たりのエクイティ投資額は10~50億円を予定している。

「ユーエスマートや夫婦岩パラダイスのように、地方には潜在成長力の高く飛躍できる企業がたくさんあります。そうした企業を支援するため特定の地域に注力する地元の金融機関及び企業と投資有限責任組合の立ち上げも考えてよいと思っています」と、津坂氏は語る。

・日本産業推進機構 <http://www.nssk-japan.com/index.html>